

世界的な食料危機の中で、持続可能で健康的な食のあり方と生協の役割を考える

私たちの食は、現在、その生産から流通、販売、消費、廃棄に至るサプライチェーンが一国内にはとどまらず、国境を超えて複雑に結び付いています。COVID-19 パンデミックによってグローバルな食品の流通は混乱し、人々の移動制限が食料生産にも影響を及ぼしました。ロシアによるウクライナ侵略はこれに拍車をかけ、食料価格高騰による入手困難、食品ロスに象徴されるような食料分配における公平性の問題と相まって、社会的に弱い立場にある人々を一層苦しめています。また、食料生産に伴う温室効果ガス排出量、食料生産のために使用される農地面積や淡水取水量などを考えると、私たちの食は「気候変動対策や生物多様性保護の実現の成否を左右する」といっても過言ではありません。栄養面でも、低栄養と肥満はともに世界の人々の健康に悪影響を及ぼしています。食料システムの変革は、「貧困をなくそう」「飢餓をゼロに」「すべての人に健康と福祉を」をはじめとするSDGsの目標達成に欠くことができないのではないのでしょうか。

食料価格高騰によって生協組合員を含む人々のくらしは厳しさを増し、食品不足の不安が高まり、食料安全保障をめぐる議論も活発に行われる状況の中、2023年度の全国研究集会は「世界的な食料危機の中で、持続可能で健康的な食のあり方と生協の役割を考える」をテーマに据えて開催いたします。持続可能性や公平性、健康などの観点から今後の「食のあり方」について改めて整理し、「すべての人が持続可能で健康的な食生活を享受できる社会のしくみづくり」に参画するため日本の生協が採るべき道について、参加者一人ひとりにお考えいただくことをめざすものです。

皆様のご参加をお待ちしております。

日時：2023年10月28日(土)13:00～17:45

会場：コモレ四谷タワーコンファレンス内会議室

(来場・オンライン配信併用 ※来場参加は先着100名様までとさせていただきます。)

講演① 私たちの食生活と人・地球の健康

飯山みゆき(国際農林水産業研究センター 情報プログラム プログラムディレクター)

講演② 食料・農業・農村をめぐる情勢変化と今後の施策の方向

～食料・農業・農村基本法の見直しに向けて

杉中 淳(農林水産省 大臣官房総括審議官)

講演③ これからの「食のあり方」～地球と食卓をつないで

下川 哲(早稲田大学政治経済学術院 准教授)

パネルディスカッション 持続可能で健康的な食のあり方と生協の役割

飯山みゆき／杉中淳／下川哲／河野康子(一般財団法人日本消費者協会 理事)

※ 敬称略

開催概要（予定）

12:00 開場（受付開始）／ オンライン配信開始

13:00前 事務局案内 中村良光（生協総合研究所 研究員／司会）

13:00～13:15 開会挨拶・解題 中嶋康博（東京大学大学院 教授／生協総合研究所 理事長）

13:15～14:05 **講演①**「私たちの食生活と人・地球の健康」
飯山みゆき（国際農林水産業研究センター プログラムディレクター）

14:05～14:15 質疑応答

14:15～14:25 休憩

14:25～15:15 **講演②**「食料・農業・農村をめぐる情勢変化と今後の施策の方向
～食料・農業・農村基本法の見直しに向けて」
杉中 淳（農林水産省 大臣官房総括審議官）

15:15～15:25 質疑応答

15:25～16:15 **講演③**「これからの『食のあり方』～地球と食卓をつないで」
下川 哲（早稲田大学 准教授）

16:15～16:25 質疑応答

16:25～16:40 休憩

16:40～17:40 **パネルディスカッション**「持続可能で健康的な食のあり方と生協の役割」
パネリスト 飯山みゆき／杉中 淳／下川 哲／河野康子（日本消費者協会 理事）
進行 藤田親継（生協総合研究所 専務理事）

17:40～17:45 閉会挨拶 藤田親継

18:00～19:30 懇親会

※ 当日のタイムスケジュールは、多少、前後する可能性があります。また、演題などは変更になる場合があります。

※ 懇親会会場はコモレ四谷 四谷タワー3階を予定しています。感染症拡大状況等によっては、懇親会の開催を中止する場合があります。

※ 敬称略

●アクセス（コモレ四谷タワーコンファレンス）



JR 四ツ谷駅

「四ツ谷口」より徒歩1分

東京メトロ四ツ谷駅

「出口3」より徒歩1分

東京メトロ四ツ谷駅

「出口1」より徒歩3分

東京都新宿区四谷 1-6-1

コモレ四谷 四谷タワー3階

●登壇者プロフィール

いみやま
飯山みゆき（国際農林水産業研究センター 情報プログラム プログラムディレクター）



慶應義塾大学商学部在学中に米ワシントン大学交換留学、東京大学大学院経済学研究科修士課程を経て、同研究科博士課程単位取得満期退学。その後、国際文化会館新渡戸フェロー（国際家畜研究所 ILRI ケニア派遣）等を経て、2008年東京大学博士（経済学）取得。2008 - 2018年 World Agroforestry Centre にて研究に従事。2016年より、国際農林水産業研究センターに勤務、2021年より現職。

すぎなか あつし
杉中 淳（農林水産省 大臣官房総括審議官）



東京大学法学部卒業後、1990年に農林水産省入省（I種・法律）。外務省国際協力局地球環境課長、水産庁漁政部加工流通課長、農林水産省食料産業局知的財産課長、農林水産省大臣官房予算課長、農林水産省大臣官房審議官（兼食料産業局）、農林水産省大臣官房輸出促進審議官（兼輸出・国際局）を経て、2022年より現職。

しもかわ さとる
下川 哲（早稲田大学政治経済学術院 准教授）



米国コーネル大学で Ph. D.（応用経済学）を取得。2016年より現職。Food Policy などの国際学術誌の編集委員も務める。専門は、「食」をとりまく社会問題を経済学的手法で研究する農業経済学。著書に「食べる経済学」（大和書房）がある。

こうの やすこ
河野 康子（一般財団法人日本消費者協会 理事）



教員として勤務後、生活協同組合の理事として10年余の活動を経て、2012年に全国消費者団体連絡会事務局長に就任。退任後の2017年、消費者被害防止救済の助成を行なう消費者スマイル基金設立と同時に事務局長に就任（現在は理事長）。この間、厚労省薬事食品衛生審議会委員、内閣府食品安全委員会臨時委員、消費者庁参与、内閣府消費者委員会臨時委員、農林水産省食料・農業・農村審議会委員、国土交通省運輸審議会委員等を務める。

※ 敬称略

●全国研究集会参加費

来場参加	生協総合研究所会員（団体会員の役職員・組合員を含む）……………	無料
	一般（生協総合研究所会員以外の方）……………	1,000 円
	学生・大学院生……………	無料
オンライン参加	……………	無料

※ 参加費のお支払い方法については、お申込み受付後にご登録のアドレスにご連絡いたします。

※ 懇親会にご参加される方は、懇親会費として一律 1 人 1,000 円をお願いいたします。（当日現金でお支払いください。）

●申込方法

下記 URL（または右の 2 次元コード）の参加申込フォームよりお申込みください。

<https://business.form-mailer.jp/fms/66f8dbd8204671>



メールでのお申込みも承ります。次の事項を記載の上、ccij@jccu.coop宛てにお申込みください。

- ① お名前
- ② ご連絡先（メールアドレス、電話番号）
- ③ ご所属（団体会員の役職員・組合員の方は団体名あるいは加入している生協名）
- ④ 参加形態（来場／オンライン／オンデマンド）
- ⑤ 懇親会参加の有無

※ ご連絡はメールにていたしますので、必ず連絡先のアドレスをお知らせください。

※ 複数名で同時にお申込みの場合は、各参加者について①～⑤をお知らせください。

●申込締切

2023 年 10 月 23 日（月） ※ 来場参加は先着 100 名様とさせていただきますので、来場参加をご希望の場合はお早目のお申込みをお願いいたします。

●招待 URL 送信のスケジュール

オンラインで参加するための招待 URL 送信は、10 月 25 日（水）を予定しております。来場参加を予定されている皆様にも、ご連絡を兼ねてお送りいたします。招待 URL 送信後の参加費のご返金はできませんので、あらかじめご了承ください。

●オンデマンド配信について

研究集会終了後に、当日の動画のオンデマンド配信を予定しております。詳細につきましては 10 月 25 日の招待 URL 送信時にご連絡いたします。オンデマンド配信のみをご希望の方も参加のお申込みをお願いいたします。

●お問合せ

公益財団法人 生協総合研究所 石川弥生・茂木夏子
E-mail : ccij@jccu.coop TEL : 03-5216-6025